

令和 8 年度 市民意見聴取実施報告 (市民意見聴取の概要)

市民意見聴取結果の概要（令和８年度実施分）

家庭ごみ有料化制度の検証のための基礎資料として活用することを目的に、無作為抽出した市民 4,000 人を対象に意識調査を実施しました。

また、市役所窓口及びホームページ上でアンケートを実施するとともに、自治会長対象のアンケートを実施することにより、広く意見を募集しました。

令和８年度に実施した、これらの市民意見聴取の概要は次のとおりです。

＜調査の概要＞

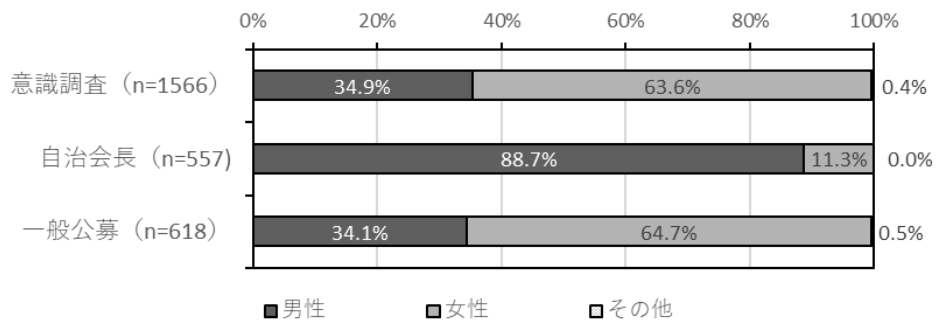
		対象	調査方法	期間	回答件数
①	市民意識調査	18 歳以上の市内居住者 4,000 人（無作為抽出）	郵送・オンライン	令和 8 年 4 月 3 日～30 日	1,566 件
②	家庭ごみ有料化制度に 関するアンケート （自治会長対象）	自治会長 (685 自治区)	郵送・オンライン	令和 8 年 4 月 13 日～5 月 11 日	557 件
③	家庭ごみ有料化制度に 関するアンケート （一般公募）	全市民	1. オンラインアンケート （市ホームページ上の回答 フォームから入力、提出） 2. 紙提出のアンケート （本庁舎での配布及びホー ムページからダウンロード）	令和 8 年 4 月 3 日～30 日	618 件

＜結果の概要＞

1 回答者の属性

① 性別

それぞれの調査における回答者の性別の内訳（割合）は次のとおりです。



② 年齢

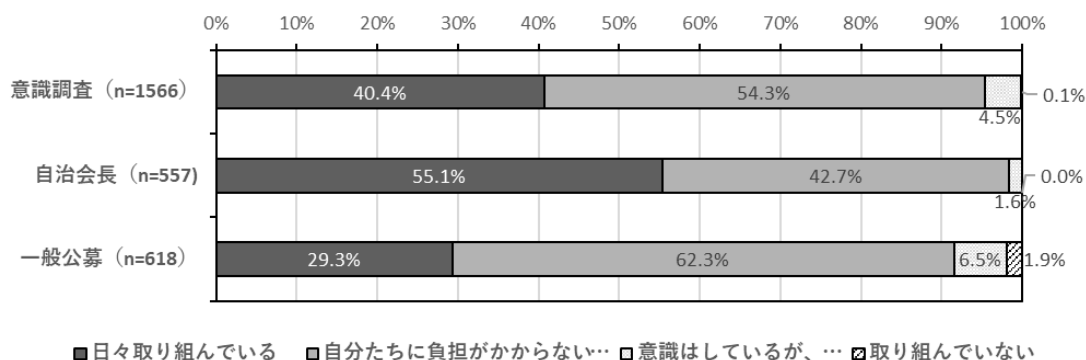
それぞれの調査における回答者の年齢の内訳（割合）は次のとおりです。

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
意識調査 (n=1566)	1.2%	5.9%	9.3%	14.2%	18.4%	20.6%	23.4%	6.8%	0.2%
自治会長 (n=557)	0.0%	0.0%	0.9%	2.2%	3.2%	25.0%	63.2%	5.4%	0.1%
一般公募 (n=618)	0.6%	9.4%	18.4%	23.6%	22.5%	18.0%	5.7%	0.5%	1.3%

2 家庭ごみ有料化制度に関すること

①ごみ減量・リサイクルの取組状況について

問 あなたやあなたと同居している方は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(〇は1つ)

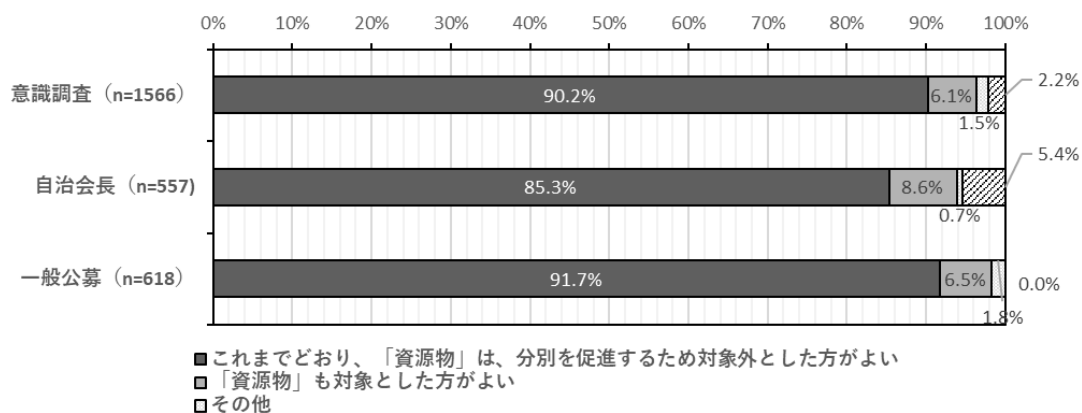


- ・ いずれの調査においても、「日々取り組んでいる」、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」の割合が高くなっています。

②家庭ごみ有料化の対象となるごみについて

問 家庭から出るごみのうち、燃やせるごみ、燃やせないごみを有料化の対象とし、資源物については有料化の対象外としています。

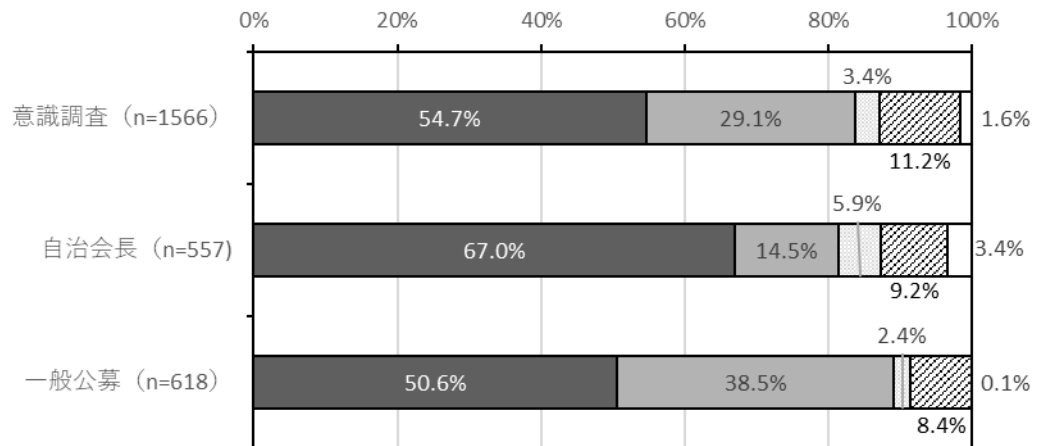
家庭ごみ有料化の対象となるごみについてどう思いますか。(〇は1つ)



- ・ いずれの調査においても、8割以上の方が「これまでどおり、資源物は、分別を促進するため対象外とした方がよい」と回答しています。

③指定有料ごみ袋の金額について

問 あなたは指定有料ごみ袋の値段についてどう思いますか。(〇は1つ)

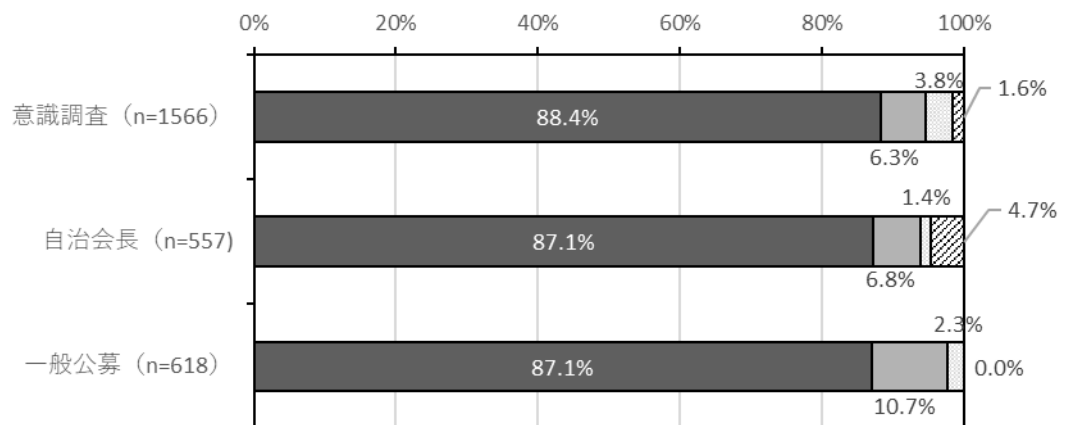


■ちょうどよいと思う ■高いと思う □安いと思う ▨わからない □無回答

・いずれの調査において「ちょうどよいと思う」と回答した人は、5割以上となっております。

④指定有料ごみ袋の種類、大きさについて

問 指定有料ごみ袋の種類（大きさ）についてどう思いますか。(〇は1つ)

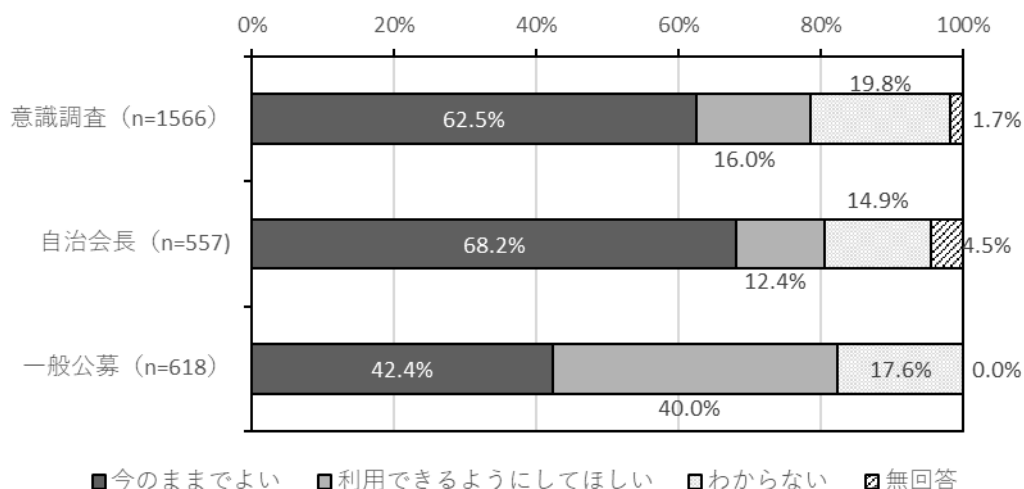


■今のままでよい ■変えた方がよい □その他 ▨無回答

・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑤指定有料ごみ袋のレジ袋利用について

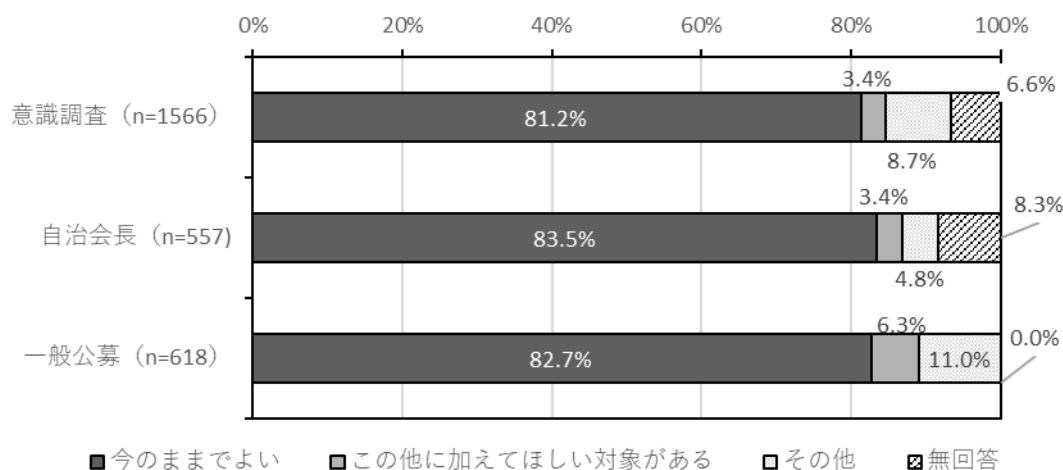
問 マイバックを忘れた時など、指定有料ごみ袋をレジ袋として利用できる自治体がありますが、どう思いますか。(〇は1つ)



- ・市民意識調査及び自治会長調査においては、「今のままでよい」と回答した人が6割以上、「利用できるようにしてほしい」と回答した人が、15%前後となっています。一般公募調査については「今のままでよい」と回答した人が42.4%、「利用できるようにしてほしい」と回答した人が、40.4%となっています。

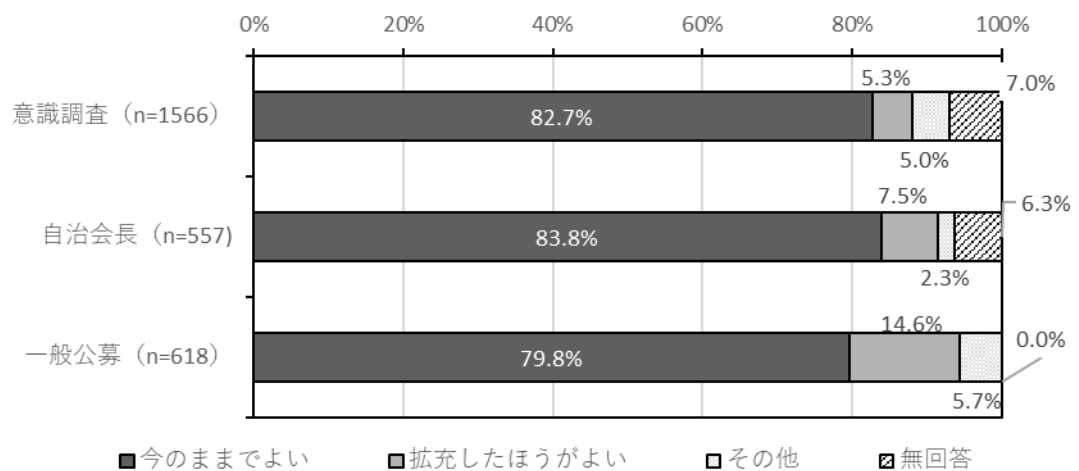
⑥負担軽減措置について

問 負担軽減措置として一定枚数の指定有料ごみ袋を無料で支給しています。負担軽減措置の対象者についてお答えください。(〇は1つ)



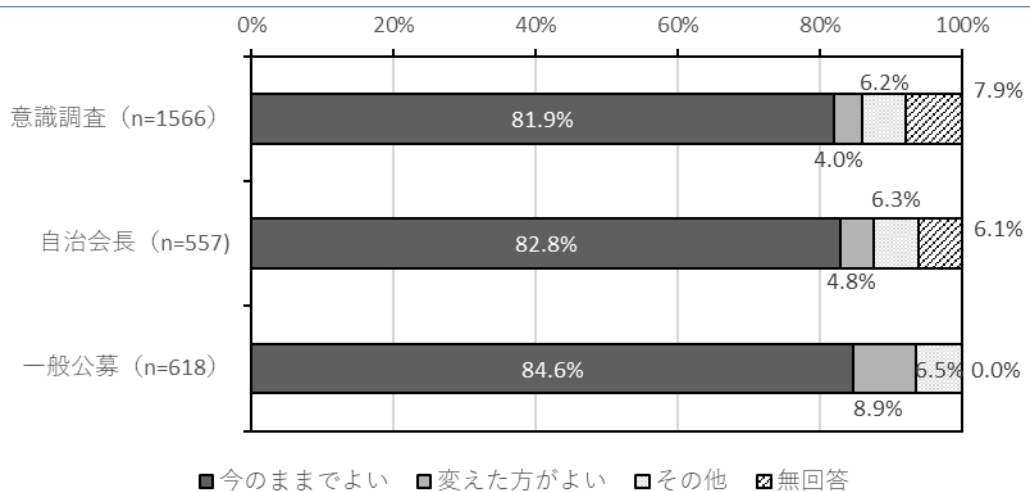
- ・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

問 乳幼児の減免制度の対象者を 3 歳未満としています。その拡充についてどう思いますか。(〇は1つ)



- ・ いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人が約 8 割となっています。

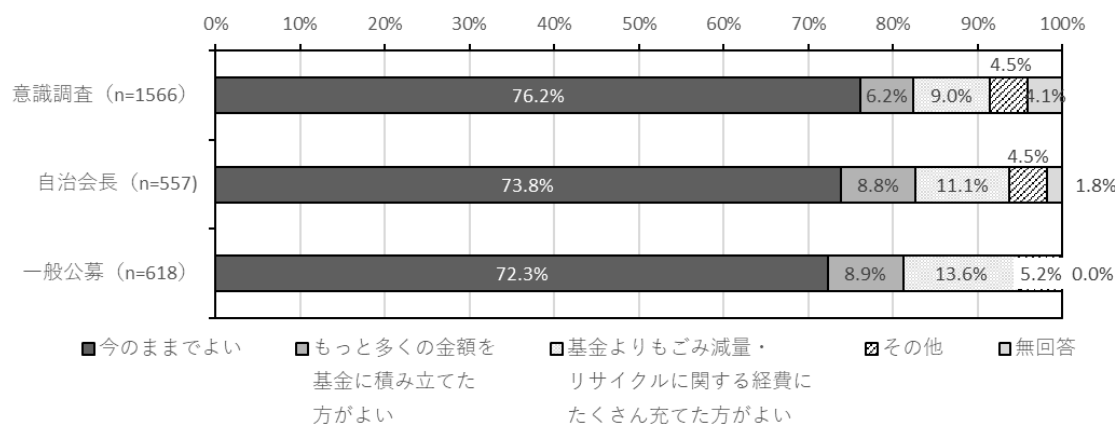
問 紙おむつやストーマ用装具を常時使用している方、腹膜透析を常時実施している方、生活保護世帯の方については原則年 1 回配送しております。また、3 歳未満の乳幼児を養育する方については、出生届出時に希望者へ事前に 10 枚を窓口交付し、残りを翌月に配送しています。交付方法についてお答えください。



- ・ いずれの調査において、「今のままでよい」と回答した人が 8 割以上となっています。

⑦手数料収入の使途について（一般廃棄物処理施設整備基金）

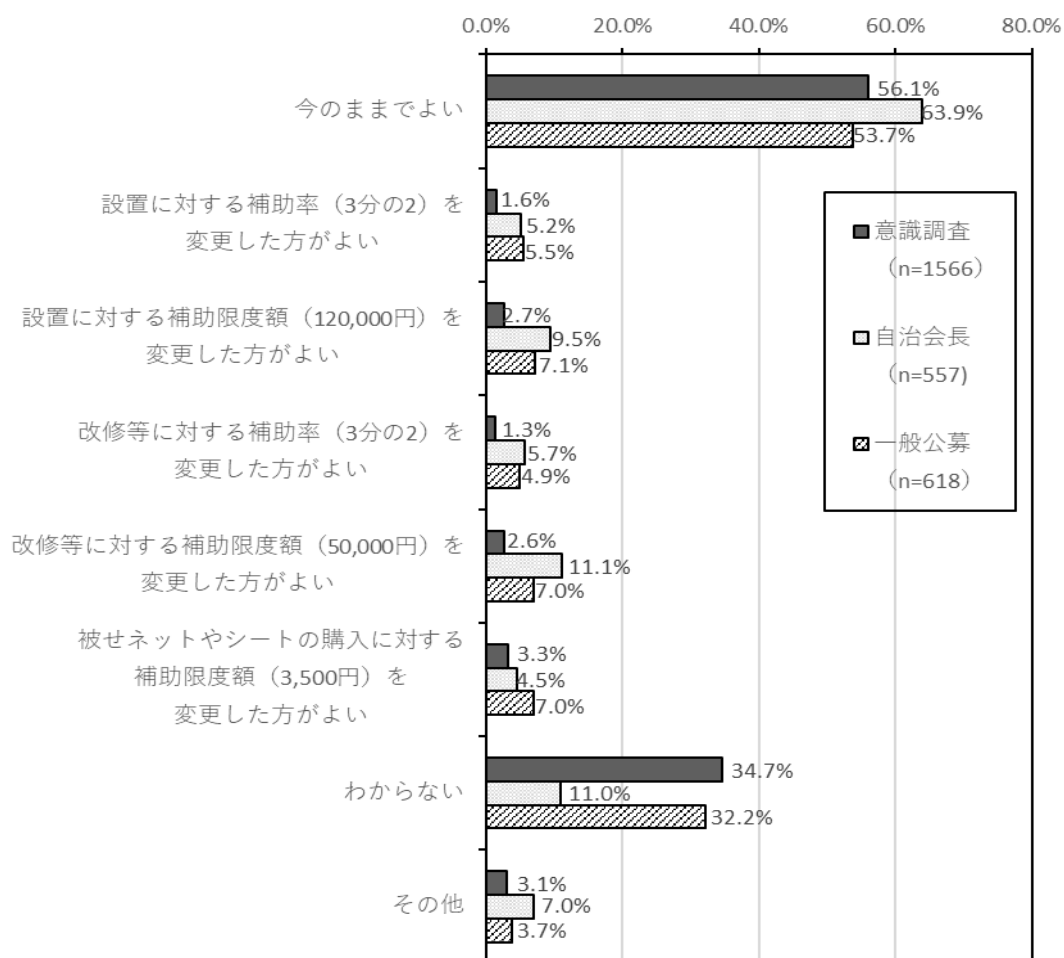
問 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、家庭ごみ有料化によって得られた手数料収入から指定ごみ袋の作製費等の必要経費を除いた額の概ね2分の1を基金として積み立てていることについてどう思いますか。（○は1つ）



・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑧手数料収入の使途について（ごみステーション設置等補助金）

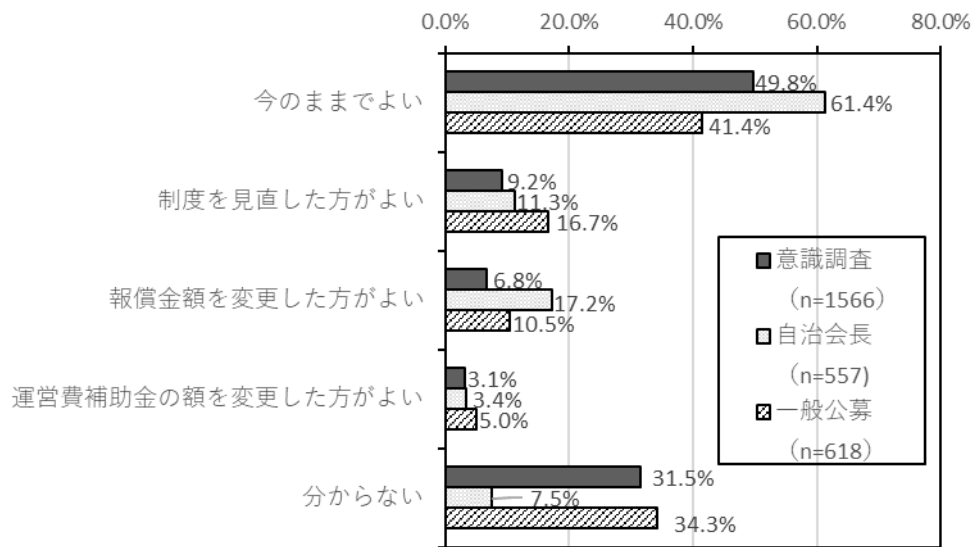
問 ごみステーションの設置等を行う自治会に対して交付している補助金についてどう思いますか。（○はいくつでも）



・いずれの調査においても、「今のままでよい」または、「わからない」と回答した人の割合が高くなっています。

⑨手数料収入の使途について（クリーン推進員報償金等）

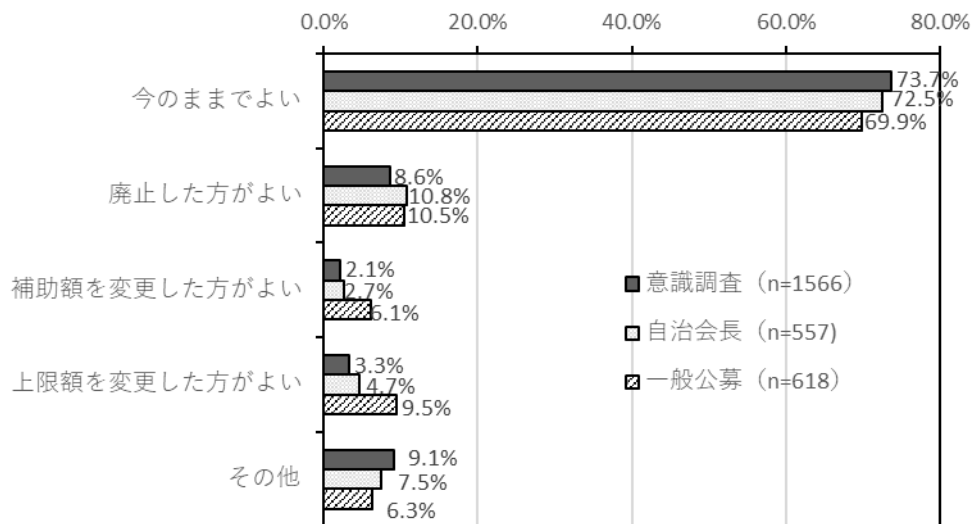
問 クリーン推進員に支給している報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営に対する補助金についてどう思いますか。（〇はいくつでも）



- ・いずれの調査においても、「今のままでよい」または、「わからない」と回答した人の割合が高くなっています。
- また、自治会長を対象にした意見募集では、約2割の方が、「報奨金額を変更した方がよい」と回答しています。

⑩手数料収入の使途について（生ごみ処理機器購入等補助金）

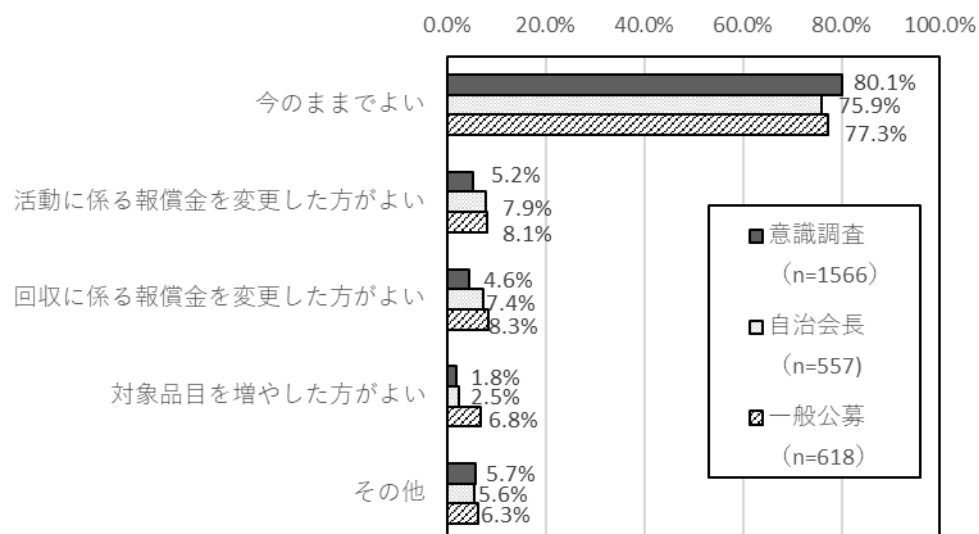
問 生ごみ処理機器の購入及びディスポーザーの設置に対して交付している補助金についてどう思いますか。（〇はいくつでも）



- ・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑪手数料収入の使途について（有価物集団回収運動報償金）

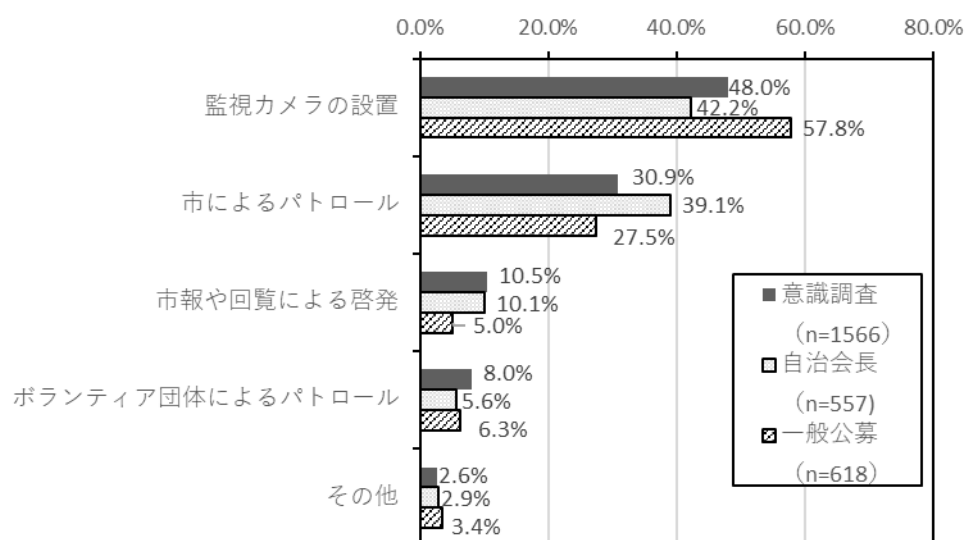
問 有価物集団回収（廃品回収）運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。（〇はいくつでも）



・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑫不法投棄に対する取組として充実してほしいこと

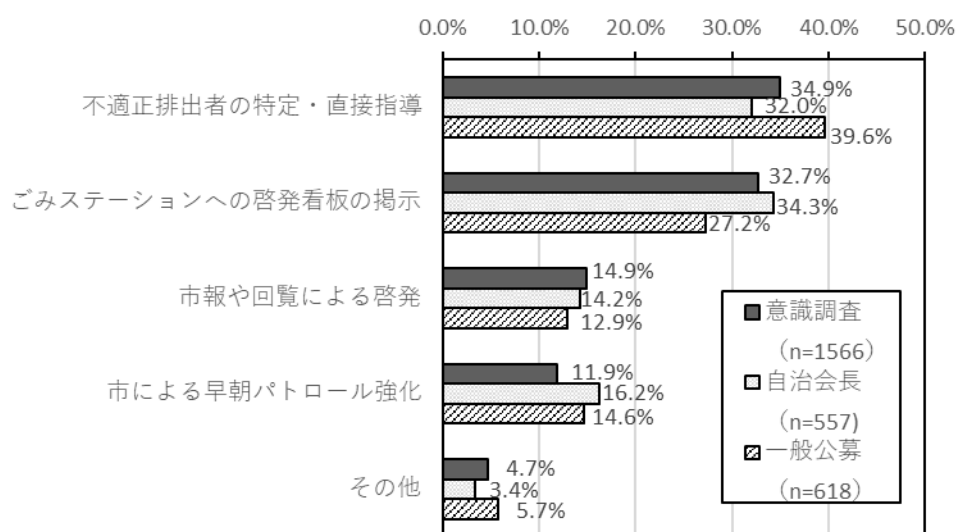
問 不法投棄に対する取組として充実してほしいと思うものはどれですか。（〇は1つ）



・いずれの調査においても「監視カメラの設置」「市によるパトロール」と回答した人の割合が高くなっています。

⑬不適正排出に対する取組として充実してほしいこと

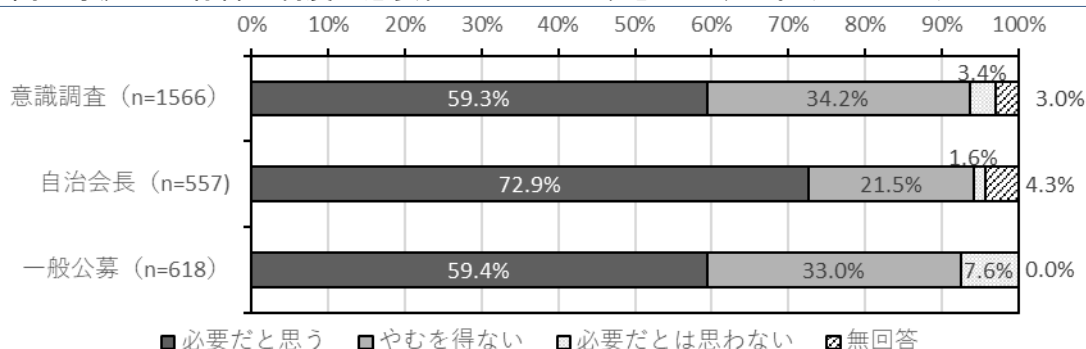
問 不適正排出に対する取組として充実してほしいと思うものはどれですか。(○は1つ)



- ・いずれの調査においても、「ごみステーションへの啓発看板の掲示」「排出者の特定・直接指導」と回答した人の割合が高くなっています。

⑭家庭ごみ有料化制度の必要性について

問 家庭ごみ有料化制度の必要性についてどう思いますか。(○は1つ)



- ・いずれの調査においても、「必要だと思う」「やむを得ない」と回答した人の割合が高くなっており、「必要だと思う」と回答した人は、5割を超えています。